



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和3年12月1日

発行者 園長 末永 寿宣

12月号

「10の姿」⑦自然との関わり・生命尊重

～身近な動植物への接し方を考え、いたわり、大切にすることをもって～

園長 末永 寿宣

身の回りの自然に触れ、美しさを感じたり、興味を持って調べたりする気持ちは、自然を守り大切にすることの土台となります。子どもたちが身近な自然や動植物と関わりながら成長していくために、私たち大人は、何をすべきでしょうか。

本園では、手で触れ、目で見て、友だちと一緒に豊かな経験をする中で、初めて「自然（命）を大切にすること」を学んでいきます。私たち大人が、自然の美しさや不思議さを感じ取り、豊かな表現で伝えていくことで子どもたちの感性を育てていきます。

それでは、その実践の一端を11月の活動の中からご紹介します。

3歳 もも組



○クワガタを入れ物から出し、手に乗せてじっくり観察します。土の中に潜ろうとしているクワガタを見て、「手をふっている」「かわいいな」と、つぶやきます。なるほど、よく見るとクワガタの触角がゆらゆらしていました。

○荒川自然公園への遠足は、現地集合で友だちと会いました。園内の大きな池を見て、「ドジョウかな」「コイだよ」と大喜びです。どんぐり拾いでは、たくさん袋に集めて大満足でした。

4歳 たんぽぽ組

○どんぐりに関する図鑑を用意しておくことで、どんぐりの種類に興味を示していました。

○冬野菜の種を調べ、大根とカブの種の違いを知り、「大きく育てね」と種を蒔きました。





○日暮里公園では、樹木に寄生するキノコを発見し、「なんのキノコかな」「毒キノコかもしれない」などと、学級で読んだキノコの本を思い出しながら話していました。

5歳 すみれ組



○春に植えたサツマイモが育ちました。長く伸びたツルを引っ張り、土を掘ってイモ掘りをしました。ツルを丸めて、リース作りもしました。好きな遊びの中でも、里イモを掘り、園庭の植物に親しんでいます。

○イモ掘り遠足では、イモを傷つけないように気を付けながら、掘り起こすと、その大きさに笑顔がはじけました。

○稲刈り体験では、一人ずつカマを持って稲刈りをしました。最初はうまく切れないと困る姿もありましたが、2回、3回と繰り返す

ことで、コツをつかんだ様子でした。

年長すみれ組では、自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取ったり、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現したりしながら、自然への愛情や畏敬の念をもつようになります。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、いたわり、大切にしたい気持ちをもって関わるようになります。

10の姿における「自然との関わり・生命尊重」を育むために、本園では、子どものつぶやきや率直な言葉を受け止めつつ、他の子どもと感想を分かち合えるように関係を仲立ちしています。

今後も子どもたちが、身の回りの自然に触れ、美しさを感じたり、興味をもって調べたりする気持ちを大切にしていまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。